

科目名	電気電子計測Ⅱ Electric and Electronic Measurements II			担当教員	川久保 貴史			
学年	5年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2	
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	16235036	単位区別	履修	
学習目標	高周波計測を中心として計測法の原理や計測器の機能について理解を深めて、計測システム構成が出来る能力を育成する。計測システム構成では、基本的な量の計測や計測器の動作原理、特徴を理解している必要がある。そのために、基本的な計測法や計測器についても指導する。							
進め方	学習項目毎に、学習内容の解説と関連する演習課題を講義する。実験実習とも関連をもたせて指導する。							
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標				
	1. デシベルの考え方(2) 2. 絶対レベル(2) 3. 電圧レベル(2) 4. 相互の変換例(2) 5. Fパラメータと映像パラメータ(2) 6. 抵抗減衰器(2) 7. 定K形フィルタ(2) 8. 問題演習(1) [前期中間試験](1)			デシベルの考え方と利用法を理解する。 D2:3 回路網の取り扱いと回路設計の基礎を理解する。 D2:3				
	9. 試験返却と解説, 高周波計測の基礎(3) 10. 残留インピーダンス(1) 11. インピーダンス整合(1) 12. 分布定数線路の基本式(2) 13. 反射係数と定在波比(2) 14. 抵抗・インピーダンスの測定(2) 15. スミスチャートの原理(2) 16. 問題演習(1) 前期末試験			高周波測定の問題点を理解する。 D2:3 高周波伝送の基礎理論を理解する。 D2:3 スミスチャートの原理と利用法を理解する。 D2:1				
	17. 試験返却と解説, VSWRとインピーダンス(3) 18. 線路上のインピーダンスの変化(1) 19. インピーダンスとアドミッタンスの変換(1) 20. P形電子電圧計(2) 21. 波形観測・デジタル電圧計(2) 22. 電力・電力量の測定(2) 23. Qメータとリアクタンス変化法(2) 24. 演習問題(1) [後期中間試験](1)			高周波用測定器について、動作原理や構成を理解する。 D3:1, E2:1 有効電力、無効電力、力率の測定原理とその方法を説明できる。 D2:2,3				
	25. 試験返却と解説, ブリッジ回路(3) 26. 給電線の特性(2) 27. 給電線の特性インピーダンス(2) 28. 周波数カウンタ(2) 29. ヘテロダイン周波数計, 空洞周波数計(4) 30. 問題演習(1) 後期末試験 試験返却(1)			ブリッジ回路を用いたインピーダンスの測定原理を説明できる。 D2:2,3				
	評価方法							
	最終成績は、試験 85%、小テスト・レポート課題等 10%、授業ノートの記載 5%として評価する。							
	履修要件							
	関連科目							
	電気電子計測Ⅰ(3年)→電気電子計測Ⅱ(5年)							
教材								
参考書：大森俊一,横島一郎,中根央 著「高周波・マイクロ波測定」コロナ社								
備考								
第一級陸上特殊無線技士の免許取得には、本科目の単位取得が必要です。 第二級海上特殊無線技士の免許取得には、本科目の単位取得が必要です。 第二級陸上無線技術士「無線工学の基礎」の科目免除には、本科目の単位取得が必要です。 オフィスアワー：毎週月曜 放課後～17:00								